



# がんば

島原市立第三小学校  
育友会報  
発行部  
広報部  
【第134号】

## 6年生 卒業おめでとう！



卒業記念 6年生学年集会「みんなで走ろう42.195kmロバに挑戦」より 2月23日

楽しいときも 苦しいときも  
いつも みんな いっしょだったね。  
これからも ずっと仲間  
いっしょにがんばろうね！



## 卒業生の皆様へ

## 「人間の花を

## 咲かせよう」

校長

田中正之

皆さんは、この第三小学校に入学して以来六年間風雪の厳しさに耐え抜き、勉強や運動に励み、苦しいことやつらいことに打ち勝つてよく努力し続け、やがて卒業していきます。「ほんとうにおめでたうございます。」と心から祝福いたします。

これは、皆さん達一人一人の力によることもですが、その陰には、ご両親を始めとして、先生、また地域の方々の力添えが働いていることを決して忘れてはいけません。

また、本校を卒業すると皆さんは中学校へ進み、さらに進学したり、就職したりしてどんどん大きくなり、道で逢

ったときなど誰か分からない程成長していくことでしょう。しかし、どんなに大きくなっても少年時代に学んだ学校は心のふるさととして大人になる程胸裏で大きくなってくるものです。そして、そのことは、苦しいとき、悲しいときは、心の支えとなつて勇気づけてくれると思います。

このように心のふるさととなる本校は明治七年創立以来一二年の歳月が過ぎて、その間、多くの先輩がすばらしい校風を築き上げてくれました。

そして、その美風を受け継いだ皆さんは、さらにそれを発展させてくれました。中学校へ進んでも、この伝統ある第三小学校の卒業生としての誇りと責任を持つて今後ますますがんばつてもらいたいものです。次のようなことを皆さんにお願いして私のほなむけの言葉にしたいと思えます。

それは「何事にも全力を尽くしてもらいたい。」ということ。学校園に咲いた花、

フラワーポットに植えられた花、野山に咲いている自然の花・・・

どの花を見てもとても美しい。いや、色だけでなく総ての花がよく整つたすばらしい形をしている。

どうして花はこのように美しいのでしょうか。

それは花自身が持っている力を十分出し切っているからだと思えます。水が不足すれば体(葉や茎)を極力太陽の方へ向け、あるがままの厳しい自然に耐え、自然の法則に従い、あらん限りの力を出し尽くしています。

一方、生物の中では最も高等だといわれる私達人間はどうかしよう。自由に動けるし、考える力もあります。ところが、この優れた能力を持つているがため、時には我がままに振る舞つたり、不平・不満を持つたりして、まともに生きないことがあるし、ちょっとした障害にもすぐ挫折し、軽少な苦労などを忌避しようとし、楽な方へ、楽な方へと行動しがちです。しかし、ド

イツの作家ゲーテは「人間だけが不可能を思われることを成し遂げることが出来る。ただし、それは、努力と忍耐がなければならぬ。(人間は自分の力を十分發揮すればどんなことでもできる)」と言いました。全くその通りです。

皆さん達は、あらゆる可能性 ぶつたこれからの人間(植物)にえれば、花のつぼみ)です。

今後、努力と忍耐で精一杯生き抜き、すばらしい人間の花を咲かせてください。





「自分のよさを生かし  
思いやりをもって」

教頭

吉田 恭子

窓越しに見える桜の蕾が急にふくらみを増し春の訪れを知らせてくれてます。その春より一足早く本日第五〇回の卒業生として、巣立ちの喜びを迎えられました一〇五名の皆さん。卒業おめでとうございます。

雲仙普賢岳が噴火をしたのは、皆さんが一年生に入学してきたときでした。あれから六年……。終息宣言をきき静かになったところで三小を巣立ち、中学校へ進学します。



一年生のころの大自然のすさまじい光景を覚えていますか。

普賢岳山頂からの大量の溶岩で麓も焼け、家を失った人がたくさんいました。

また仮転校をして島原から離れて避難した人もいます。学校では土俵を壊しての仮設校舎の建設や屋根付きのプール、夏期の冷暖房設備等環境も大きく変化しました。今振り返って見ると、皆さんの小学校生活は自然界の大きな営みとの出会いでした。全国の各地からいろいろな励ましがくるなか、お互い助け合うことの大切さ困難に打ち勝つたくましさや身につけてきました。そんな中で運動会やマラソン大会での頑張り、綱引き大会での優勝、チームティーチングでのお勉強、皆さんは最高学年として凛とした姿勢で下級生をまとめ、学業に運動にすばらしい成果を上げ本校の伝統と校風を高めてくれました。

本校歴史に輝かしい一頁を書き加えました。皆さんの誠実



溢れた努力に対し、改めて賞賛と拍手をおくりその労をねぎらいたい気持ちでいっぱいです。

卒業とは「二つのことを終え、そこを足場により高いものを目指し、新たに出発する。」という意味です。私は、このことから次の二つのことをお話します。

一、一人一人の皆さんは、それぞれ顔や表情が異なっているのと同じように一人一人が掛け替えのないよさを持っているはずですよ。他人にないよさを持っているはずですよ。他人にないよさを必ず持つていきます。そのよさをこれからの生活に大いに伸ばしてほしいのです。

二、人間は社会的動物だと言われるように、人とのつなが

りをもって生活しています。人という字は人に支えられ、また他人を支えることを意味し、他とのかわりを持つことを意味します。そこから私たちは他人に対して深い思いやりの気持ちが必要になってきます。思いやりが有るところに感謝の気持ちも湧いてくるでしょうし奉仕の気持ちも湧いてきます。そこから人と人との強い結びつきも生まれてくるのです。

自分のよさを伸ばし生かし、人に対して深い思いやりを持つことを中学校での生活に生かしてください。自己の力に磨きをかけ、値打ちのある人間としての成長を心から祈っています。





がんば

(4)



ほほむけの言葉

六年一組担任 近藤 洋

卒業おめでとうございます。一年生の頃は、体より大きかったであらうランドセルが、今ではランドセルの方が小さく見えます。目には見えませんが、心も、うんぽう人との出会いで成長したことで、もう、五年生の最初に顔を合せては時のみんぽうと、現在のみんぽうは、別人のように、たくましく目に映ります。みんぽうの人生の中で、小学校生活が終わる、今大きな節目を迎えています。これから、本当の自分自身のために生きる時代と思います。みんぽうの目の前には、うんぽうが広がっています。どのような方向性をもって頑張っていくのかは、自分次第です。悔いのないようには、その時々の時に、全力で立ち向かえる人になりましょう。あつたにちを、幼い頃から見守っていらつたる家の人に感謝を忘れず、いろいろな事に気づくことのできる中学生へと成長して、くれぬことを望みます。周囲の友達に思いやりをもち、こいからも楽しく生活できる雰囲気も、一人ひとりがつくろうと心がけましょう。

少年よ、大志を抱け。一学期、学校のロッカーにみんぽうで書いた言葉です。大いける期待をこめて、全員に贈りたいと思います。自信をもって、一歩一歩力強く、それだけの希望する道を進んでください。  
「がんばりだせ、三小」



卒業にそえて

六年二組担任 菅 秀康

◎ひとりは みんなのために  
学級対抗リレー。七戦全敗だった。運動会も五位と六位。一生けん命走り出した。れど、惨敗だった。だから走った。努力した。マラソン大会では、学級平均で一番になろうと。一組も三組も、そんなことを考えてもいなか、ただろうかと。二組は燃えた。速い人も速くない人も一つでも順位をあげようとして一致団結した。そして、目標を達成した。

◎みんなは ひとりのために  
中村が入院した。長くかかるらしい。何も悪いことはなかった。見舞に行きた。交代でノートをとった。めめて書いて持っていく。病院のベッドで中村が考える。だれかがノートを添削してやる。中村は、病院のベッドで授業を受けられた。二週間程で退院した。中村は、テストで九十点とった。

◎みんなは ひとりのために  
毎日、みんなが言うてきた言葉だ。言うのは簡単。実行してこそ学級のモットーだ。卒業おめでとう。中学校でもがんばれ。このモットーと三十五人の笑顔と先生は忘れない。





卒業 おめでとう  
六年三組担任 坂本 京子

四月六日、出会いの日。(この先生はどんな人なのだろう)不安と緊張に満ちたあなたたちの表情を今でもはっきり覚えています。お互いに何となく遠い感じがしましたわ。

そんな私たちの気持ちを通じ合ったのは、運動会での優勝がきっかけではなかったでしょうか。それから毎日が楽しくてたまりませんでした。そして卒業の日、今の気持ちを詩に託して贈ります。

出逢い 関 洋子

あなたに出逢えてよかった

しみみとそうおもう

あなたに出逢えてよかった

ありがとう

ありがとう

すべてのふりかえる道が

この道へ続いていたらとおもえる日は

こころがなんどでもくりかえす

ありがとう

ありがとう

あなたたちは、一人一人がすばらしい光を持った星です。輝け！三十六名のスターたち!!

「伝統を守り

更に築いた

平成八年度」

校長

田中正之

この第三小学校は、戦前の学校体育衛生研究発表を皮切りに戦後になって、社会科・国語・算数の研究発表会、それに、理科教育ソニー百万円受賞、天皇皇后両陛下の御視察の誉れに浴した、二回の理科研究会、また、私の在勤中に行い、一躍三小有りと名を轟かせた九州構造教育発表会など、世に先駆けて教育研究に取り組み、常に前に向かって進む、活力ある学校であり、それも本校の伝統であります。本年度も島原市教育委員会の指定を受け、個性の伸長と自己教育力の育成を目指し、個に応じた指導はどうあればよいかということ、ティームティーチング(協力教授)による「学習指導法の改善」というテーマで二年間、全職

員一致し協力して取り組み、二月七日(金)研究発表会を開催しました。この時期は多くは望めないのですが、総勢百三十名の参加者を得、育友会の協力もあり、大盛會裡に終了することができました。これは、子ども一人一人が個性を発揮しながら、自分で学び判断し、行動していく、いわゆる二十一世紀の厳しい時代を生き抜く力を身につけさせるための学習指導法であり、今からの教育の指針となるものであり、このように難しい教育に取り組み、前向きで活気溢れる学校という三小の伝統を守ることができました。私は二十五年前から六年間三小に勤務していたがその時は、体育主任をし、市内の各種競技会前には多くの選手を鍛えました。島原水上祭りでは、夏休み朝呼び出し、出場種目の泳法でプールを繰り返し往復させたり、島原マラソン大会に向けては、毎日、ストップウオッチ片手に一週百五十mの運動場を目標の二kmペースで巡走させ、小体連前

には、放課後、高学年担任で、それぞれ種目毎に分担し、トラック・フィールド・砂場にわかれて特訓しました。

この厳しく、苦しい練習だったが指導を素直に受け入れ、意欲的に、その試練に耐え、お陰でどの大会も多くの上位入賞者を出すことができました。

これは、長い歴史と伝統の中で培われた三小児童の特色であり、宝でもある「純真、明朗、闊達」の心があつたからだと思えます。この三つの子どもの伝統は今でも受け継いでいます。

当時は白山やまが崩され、それが旗池等低地に埋められ、今の白山町が誕生しました。また、道路は出来たが家一軒もなく、車一台も通らない絶好のマラソンコースとなりロードレースを取り入れた第一回の校内マラソンを行いました。それが今でも毎年継続実施されています。

この大会に向けての練習の一つとして、運動場を走った回数を、三小で考案した半島

白地図入りのマラソンカードに記入し、島原半島一周マラソンを行うことになっているが、今でも、毎冬、このカードマラソンに挑戦し、それを教室や廊下の壁に貼り、意欲的に、友と競い、励まし合いながら走る練習に勤しみ、校内マラソン、小体連健康マラソンでは好記録を出しています。

また、埋立跡に体育館が建設され、それを機に白山バレーチームを作り、時を同じくして、白山サッカーチームも結成されたが、そのチームは現存し、市内大会でも活躍しています。その練習が、仕方なくやるのではなく選手全員が礼儀を尊び、明るい声を出しながら、自ら進んで練習に励んでいます。

これらも、三小の子どもの伝統的な良さの表れですが、スポーツに限らず、普段の学習、生活の場でも発揮されています。

本年は、それに加え、更に、三つの子どもの良さができました。その一つが「あいさつ」です。挨拶運動の成果でもあ

りますが、校内一巡しますと、誰とでも、何処であつても、驚くほど快い挨拶をし、大変感心しています。

次がきびきびした、節度ある望ましい「集団行動」です。運動会の開会式を參觀された方はお気付きだったと思いますが、入場行進、整列、集合の仕方は今だ嘗て見たことのないような上乘の出来栄でしたし、小体連の閉会式では他校がまねの出来ない程のすばらしい態度を見せました。全校朝会、修学旅行等々でもその良さが発現しました。

三つ目は、「協力」です。小体連種目で、心を合わせてやる学級縄跳び大会では、入賞をほぼ独占し、また、半島がまだす祭りの綱引き大会では、二十チームの参加の中で、三小チームは見事優勝し、力を合わせ、協力の良さが遺憾なく発揮されました。

これら、本年の三つの子どもの良さも、三小の伝統の一つに加え伸ばしていきたいものです。

このように、伝統を守り、

また、ある時は新たな伝統を築きつつ、よりよい学校を目指した教育実践で、三小は発展していくのではないかと思います。

### \*十一月からの主な行事\*

十一月二十二日～二十四日

#### 県・A島原大会

(各)会の皆さま本当にお疲れさまでした。皆さまの協力のお陰で大成功に終わりました。)

二月二日

#### 島原市PTA連盟バレー大会

(選手の皆さまが頑張ったのですが日頃の運動不足が結果に出て、残念ながら予選落ちでした。)

二月七日

#### 研究発表会

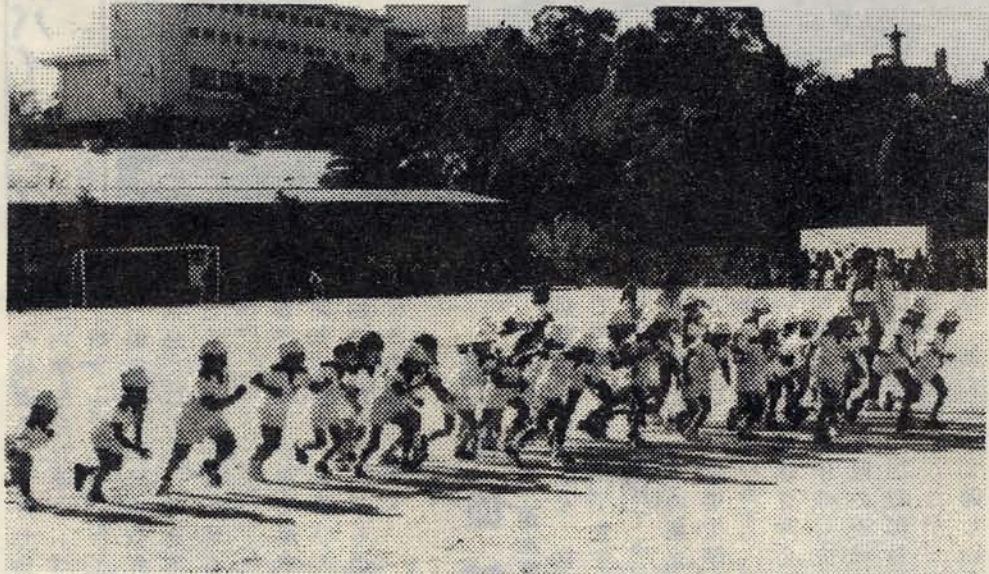
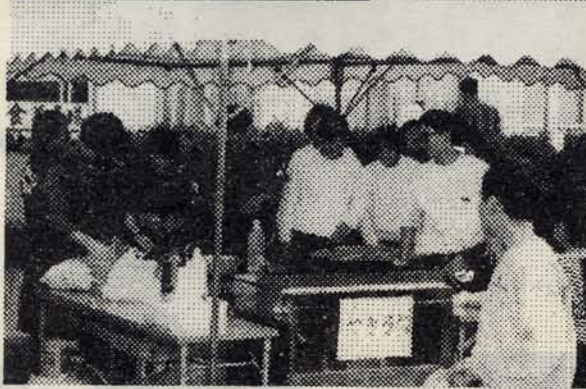
(先生達の研究成果の発表と父兄参観を同時に行いました。父兄の方には来賓の湯茶接待と駐車場係りでお世話になりました。ご協力有り難うございました。)





白山公民館まつり

十一月九日(土)



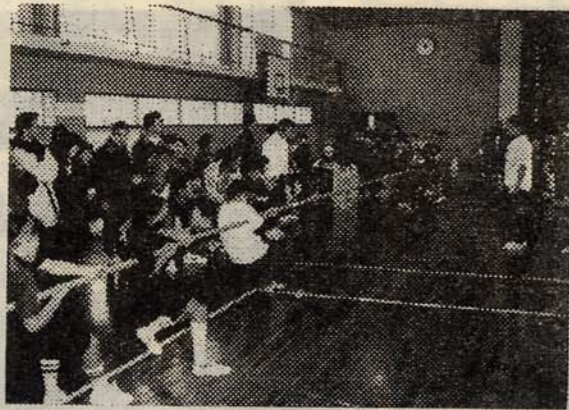
校内マラソン大会

十二月九日(月)



## 親子綱引き大会

一月十二日(土)



〔低学年・保護者の部〕

- 一位…崩山
- 二位…西八幡
- 三位…新山西

〔高学年の部〕

- 一位…白土桃山二丁目
- 二位…白土桃山一丁目
- 三位…崩山

この大会の準備に携わった体育部の皆さん・協力して下さった先生や各町内の父兄の皆さま大変お疲れさまでした。今後も親子で出来る楽しい企画をお願いします。

十月十二日(土)、三小体育館で親子綱引き大会が開催されました。子ども達の一生懸命な競技や童心に戻ったような父兄のにぎやかな応援で大変盛り上がった大会でした。結果は次の通りです。



## 卒業バイキング

三月七日(金)



今年度も、三月七日(金)に六年生を対象に「バイキング給食」が行われました。

健康部・島原市教育委員会共催で行われ、健康部のお母さんや六年生のお母さん達が準備してくれました。

普段教室で食べる給食とは雰囲気の違い、大喜びのうちに何杯も食べる子ども達が目に付きました。

## 編集後記

今年度最後の「がんば」は、広報部の高田さん・宮崎さんと学校の吉田文字先生と一緒に手作りで仕上げてみました。何分素人ばかりの集まりですから誤字・脱字等で読みにくかったかと思えます。

いろいろな方法を考えながら「がんば」を作成しています。が、未だに失敗の連続です。二年間続けて広報部長をさせて頂いていただきましたが、広報紙は、あらためて難しいと思います。今年も一年間有り難うございました。(広報部長)